会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和４年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回運営委員会 |
| 開催日時 | 令和4年11月24日（火）　15時00分～17時00分 |
| 場所 | リファレンス駅東ビル貸会議室 |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾委員対面　：岡村　慎一、成底　敏、柳田　祐大、泉田　優、小田　政江、藤井　達也、松田　義弘、猪俣　昇（OL）、山根　大助（OL）、八木　信幸（OL）、氏部　正（OL）、槇　裕美（OL）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計13名請負業者　：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　 計1名合計14名 |
| 議題等 | (1)知識系分野学習用動画コンテンツの追加（成底）・追加コンテンツの状況について報告します。1. 情報公開の必要性（募集広報に囚われないＩＲにシフト）は適当な学校が見つからない状況です。
2. 職業教育のマネジメントの有用性（採用（調達）・配置・評価）は三菱総研　久保寺さんに依頼が完了し年内～１月を目途にビデオを自作し納品いただけることになっています。
3. 私立学校法改正（社会からの要請・改正の必要性）は、法案未審議により今回は作成なしことといたしました。

・私学行政課への対応はどのようになっていますか（岡村）・一旦白紙に戻し、必要な時に新たにご依頼することとしました。（成底）・情報公開の必要性についての対応はどのようにするのか（高岡）・学校の成功事例を探しているところですがIRということになりますと良い事例を見つけることができません。少し違った目線でお願いすることも検討したいと思います。（成底）・一般社団法人専門職高等教育質保証機構の江島局長あたりに広い意味でのお話をいただくことはどうでしょう。（岡村）・江島様にアプローチしてみます。（成底）(2)学校運営管理者向けセミナーの開催（成底）・いよいよ、情報公開セミナーと職業教育マネジメントセミナー東京会場の開催が近づきました。ここで状況と役割分担を確認したいと思います。・定員ですが既に予定席数を達成しているので現在締め切っている状態です。・日本児童教育専門学校の紅葉様１日目14：30頃退席。2日目は参加と連絡があります。・久保寺様・白井様は2日目8：30頃会場入り。マシンのセッティング確認を小田さんと山根さんでお願いできますか。・岡村さん、川崎会長・船木室長補佐の入り時間の確認をお願いします。・受付と費用精算、資料準備等に庶務については、飯塚さんにお願いします。・1日目の研修の総括は高岡先生。2日目は岡村先生にお願いします。福岡は、高岡先生が両日お願いします。・司会は、東京が山根さん。福岡が泉田さんでお願いします。・1日目のファシリテーターは八木さん。2日目は成底が行います。福岡会場は両日とも八木さんにお願いします。・アンケートは、google formsの作成は成底が、集計は飯塚さんにお願いします。・司会の原稿ですが、お名前の読み方が分からない方がいらっしゃいますので、追って読み方をお知らせください。Slackでの共有で構いません。（山根）・大阪の司会原稿を頂戴して、私の方で福岡の原稿は作成します。山根さん共有をお願いします。（泉田）(3) e-learingマネジメントシステムの構築（猪俣）・現在、コンテンツの登録が完了し、修了テストの問題確認が終了したら作成に入りたいと思います。またこの段階で一旦システムのテストを開始したいと思います。皆様にＩＤを発行しますので、各校で人数をお知らせください。SlackのDMでかまいません。・各校から2名程度は確認するということでお願いします。また、今年度のコンテンツは出来次第追加をしていくこととします。柳田さん修了テストの準備をお願いします。（成底）(5)申請業務効率化アプリ開発（猪俣）・アプリケーションの開発に関しましては、1月を目途にモックを作り皆様方に配布しますので、動作確認やご意見などをお寄せいただければと思います。・モックとは何でしょうか？（岡村）・テストシステムとお考え下さい。（猪俣）・インターフェースに記載されている言葉などがIT業界で使われる用語が多く見受けられ、わかりにくいです。インターフェースについて見直しをお願いします。例えば、クライアントと記載されている部分は教職員に直すとかです。（飯塚） |
| 配布資料 | ・第3回運営委員会資料 |

以上